

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	スリムグリップグラインダ SDG-125A		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
※販売店	住所名	〒 ()		

(注)※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

お客様
相談窓口

商品・修理品についてのお問い合わせは…

☎ 03-3252-8861

修理品の送り先…

〒340-0002 埼玉県草加市青柳6-30-9

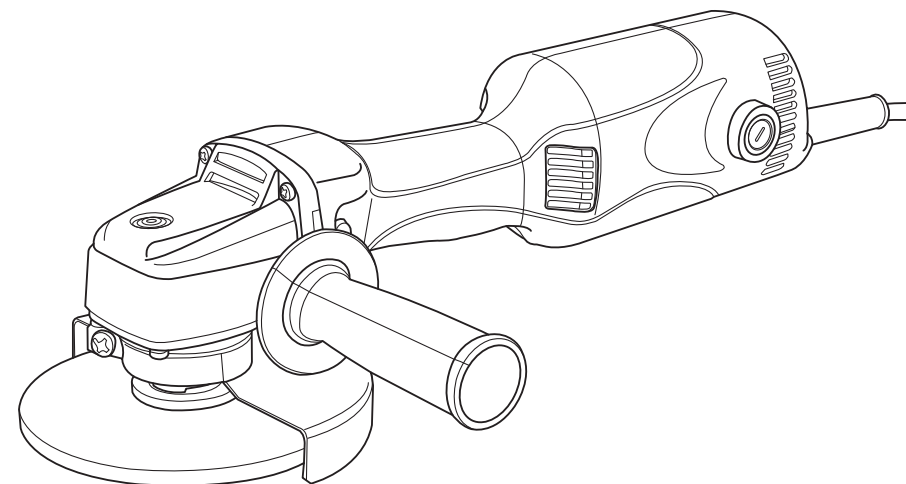
株式会社 新興製作所 埼玉工場

TEL:048-931-4151

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

スリムグリップグラインダ SDG-125A 取扱説明書



二重絶縁

このたびはスリムグリップグラインダをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

△ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外には近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいる、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

△ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいた、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れた人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
- 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
- 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モートルに負荷が多くなり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

スリムグリップグラインダ使用上のご注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、スリムグリップグラインダについて、さらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 本機が輸送途中において衝撃等により接続金具が外れて破損することがあります。使用前に必ず各部を確認してください。破損したままご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 使用前に電源コード、差し込みプラグを点検してください。電源コード、差し込みプラグを傷んだまま使用しますと、火傷、感電、火災の恐れがあり危険です。
- 使用電源は、銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用下さい。表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に早くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 差し込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- 使用中は本機を確実に保持してください。確実に保持していないと本機が振れ、思わぬ事故の原因になります。
- 水や研削液などを絶対に使用しないでください。感電事故のもとになり、大変危険です。
- 本機を雨の中や湿気の多いところで使用したり放置しないでください。またぬれた手で、差し込みプラグに触れないでください。感電の恐れがあり危険です。
- 研削トイシでは切断作業を絶対にしないでください。切断作業をしますとトイシを破壊し、思わぬ事故の原因になります。
- 各種作業で本機を上向にして使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。
- 作業に合ったトイシカバーを必ず取付けてご使用ください。カバーを外してご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 使用前に各種トイシやダイヤモンドホイールなどに亀裂、割れがないことを確認してください。亀裂、割れのままご使用になりますと破損などで、思わぬ事故の原因になります。
- 各種トイシやダイヤモンドホイールなどのネジ止め、サイドハンドルなどの取付けは確実にしてください。ネジ止めや取付けが不十分ですと使用中に外れて思わぬ事故の原因になります。
- 回転中は各種トイシやダイヤモンドホイールに手を触れないでください。また、身体に近付けないでください。各種トイシやダイヤモンドホイールは高速で回転をしていますので大変危険です。
- ダイヤモンドホイール、切断トイシでの曲線切り、斜め切り、ジグザグ切断、コジリ、側面使用などは絶対にしないでください。破損などで、思わぬ事故の原因になります。
- 作業者は、長袖、長ズボン、保護メガネ、防じんマスク等を必ず身につけてください。研削粉や火花が飛び散り、火傷や目、口に研削粉が入る事があり危険です。
- 可燃性の液体やガスのある所では絶対に使用しないでください。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。

- 回転中は**ロックピンを押さない**で下さい。また、ロックピンを押したままスイッチを入れないでください。急激な回転の停止による、モーター損傷の原因になるばかりでなく、本機が振れて思わぬ事故の原因になります。
- **小さいお子様や、不慣れな方**には使わせないでください。また、近づかないように注意してください。思わぬ事故の原因になります。
- 各種**トイシやダイヤモンドホイールの交換、トイシカバーの交換、ブラシの交換**などをするときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いて交換をしてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。
- 切断、研削する材料は**確実に固定**してください。不安定な置き方で作業をしますと、材料が飛ばされて思わぬ事故の原因になります。
- **手の平にのせての研削や、短い材料の切断加工はしない**でください。思わぬ事故の原因になります。
- 使用中、本機の異常に気づいたときは直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。(または修理に出してください。)
- 切断作業をするときは、事前にその内部に配線、配管の有無を確認の上作業を行ってください。感電、ガス漏れなどの事故の原因になります。

⚠ 注意

- ご使用前に、取扱説明書に記載されている**付属品に、損傷がない**ことを確認してください。
- **付属品の取付け**は、取扱説明書に従い**確実に**取付けてください。
- **無理に押し付けて**、回転数が大幅に低下するような負荷をかけないでください。作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命が短くなります。
- 付属品のオフセットトイシは**正しい使用面で研削**してください。トイシの上面、側面では研削しないでください
- **丸ノコ刃やチップソーでの切断作業はしない**でください。思わぬけがの原因になります。
- 本機は、スイッチを切っても**モーターの回転はすぐに止まりません**。作業が終わっても地面や床にはすぐ置かず、回転の停止を確認してください。
- **切断直後、研削直後の材料は熱くなっています**。火傷の恐れがありますので、直ぐには触らないでください
- 作業前に、人のいない方向に本機を向けて**試運転**をし、本機や取付け部品に異常のないことを確認してください。
- **高所作業では、下に人がいないことをよく確認**してください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。本機や材料の落下などで思わぬけがの原因になります。

仕様明細

形 式	SDG-125A
電 圧	AC100V
周 波 数	50/60Hz
電 流	7.8A
消 費 電 力	750W
回 転 数	9,000min ⁻¹
ト イ シ 寸 法	オフセットトイシ125×22×6mm,100×15×6mm
電 源 コ ー ド	1.8m
絶 縁	回二重絶縁
質 量	2.4Kg
定 格 時 間	20分

※本機は改良のため、予告なしに仕様変更することがあります。

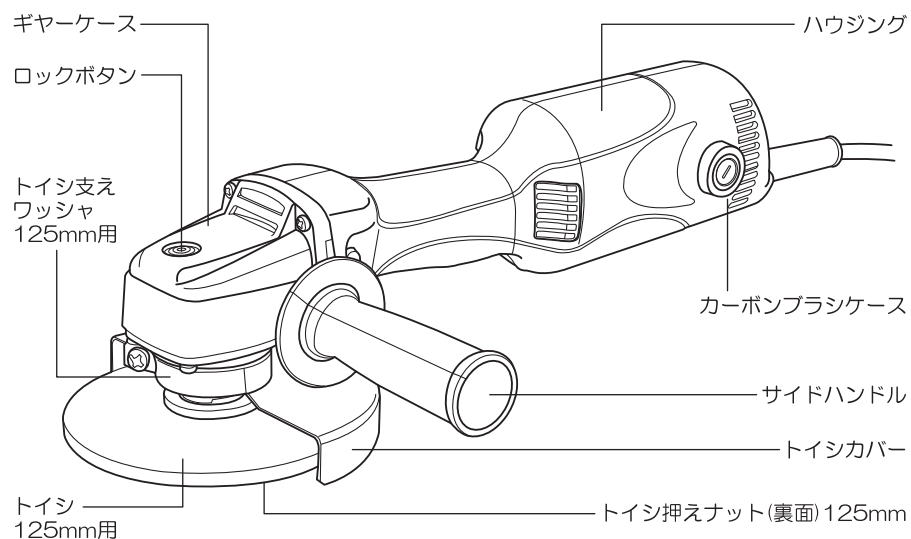
延長コードについて

- 延長コードは電流が流れるのに十分な太さのもので、できるだけ短いコードをご使用ください。
- 下記の表はコードの太さ(導体公称断面積)と最大の長さです。(ご参考)

コードの太さ(導体公称断面積)	最大の長さ
1.25 mm ²	15m
2.0 mm ²	20m

Ⓜドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

部品の名称



付属部品

トイシ	125、100mmオフセットトイシ×各1
スパナ	100/125mmトイシ交換に使用×1
サイドハンドル	本機にセットして使用×1
ワッシャ	125mm用トイシ支えワッシャ×1、トイシ押さえナット×1(本体に取付) 100mm用トイシ支えワッシャ×1、トイシ押さえナット×1
カバー	100mm、125mm用×各1

用途

- 金属(板、骨材、鋳物)の研削、バリ取り、錆おとし
- 金属(板、骨材)溶接部の研削、バリ取り、面取り
- レンガ、石、合成樹脂等の表面仕上げ

作業前の準備

⚠ 注意

- ご使用前に、取扱説明書に記載されている**付属品**に、**損傷がないことを確認**してください。
- **付属品の取付け**は、取扱説明書に従い**確実に取付けて**ください。
- **トイシの交換、ブラシの交換**をするときは必ず**スイッチを切り**、**差込みプラグを電源から抜いて交換**をしてください。不意の起動により、**思わぬ事故の原因**になります。
- **トイシのネジ止め、サイドハンドルの取付け**は**確実に**してください。ネジ止めや取付けが不十分ですと使用中に、**トイシやハンドルが外れて大変危険**です。

■ サイドハンドルの取付け

- 本機の左右にあるサイドハンドル取付け穴に付属のサイドハンドルを右、または左に**確実にねじ込んで締付けて**下さい。

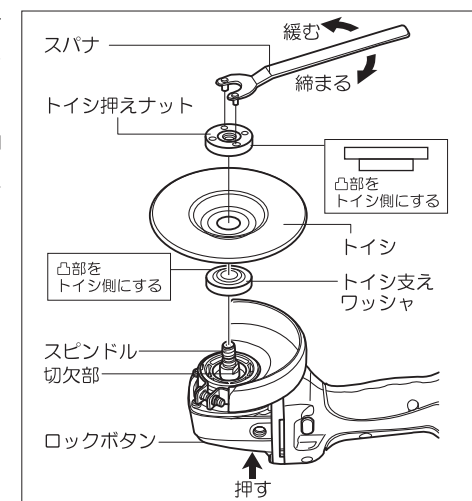
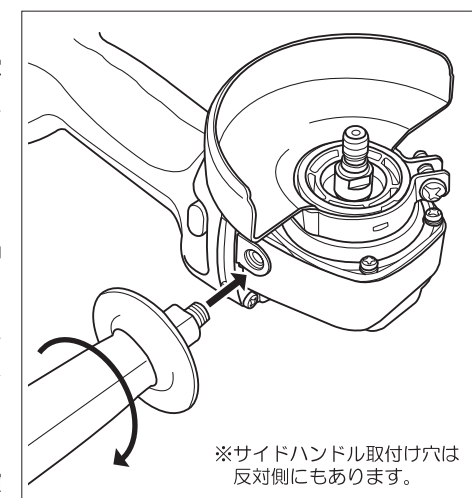
■ 付属品トイシの取付け

- 本機スピンドルに取付けてある、トイシ押さえナット(125mm用)を外してください。
- 付属品トイシ(125mm用)の凹面が見えるようにして、トイシ支えワッシャの凸(小)部に**差込んで**下さい。

Ⓔ スピンドル凸(切欠)部に、トイシ支えワッシャの凸(切欠)部が**噛合**していることを、**確認**してください。

- 先に取外したトイシ押さえナットを、凸面を下にしてスピンドルに軽く締めてください。
- **ロックボタン**を指で押して、スピンドル軸を固定し、付属の**スパナ**でトイシ押さえナットを締めてください。

Ⓔ 取外しは取付けの逆の手順で行ってください。



■サンディングディスクの取付け

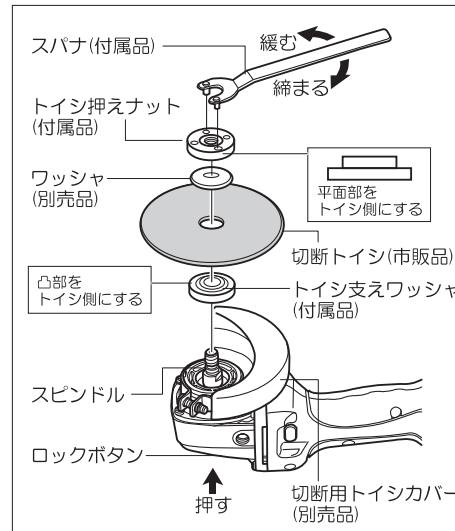
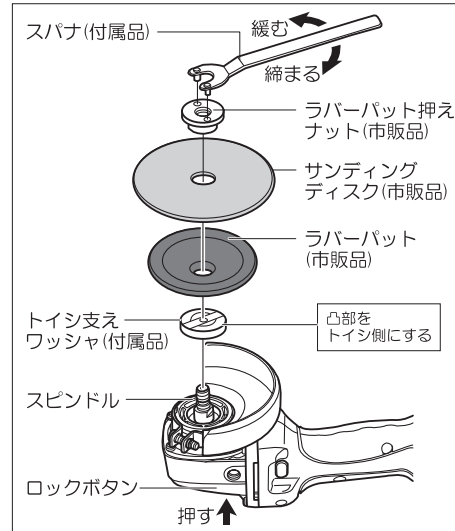
- スピンドルにトイシ支えワッシャを差し込んでください。
- ☑ スピンドル凸(切欠)部に、トイシ支えワッシャの凸(切欠)部を噛み合わせてください。
- ラバーパット(市販品)を差し込んでください。
- サンディングディスクをラバーパットに乗せて、専用押さえナットを締めてください。
- ☑ ラバーパット(市販品)の付属専用押さえナットをご使用ください。
- ☑ ラバーパットに専用の押さえナットがついていないときは、付属の押さえナット(凸面)を下にしてスピンドルに締めてください。

■切断トイシの取付け

- トイシカバーを取外し、切断用トイシカバー(別売品)を取付けてください。
- ☑ 切断用トイシカバー(別売品)を必ずご使用ください。飛散物などで危険です。
- スピンドルにトイシ支えワッシャ、切断トイシ、ワッシャ(別売品の切断用トイシカバーに付属)の順に付けてください。
- ☑ スピンドル凸(切欠)部に、トイシ支えワッシャの凸(切欠)部が噛み合っていることを確認してください。
- 取外したトイシ押さえナットを、凹面を下にしてスピンドルに軽く締めてください。
- ロックボタンを指で押して、スピンドル軸を固定し、付属のスパナでトイシ押さえナットを締付けてください。

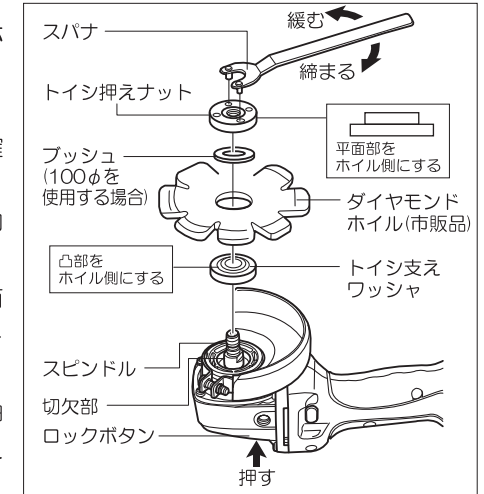
■カップワイヤブラシ、ベベルワイヤブラシの取付け

- カップワイヤブラシ、ベベルワイヤブラシを取付けるときは、トイシ支えワッシャ凸(小)部に直接取付けてご使用してください。
- ☑ カップワイヤブラシ、ベベルワイヤブラシは、ネジ頭部に凹がある商品ですと回転ブレが少なく安定します。
- 取付けでは、ロックボタンを指で押してスピンドル軸を固定し、市販のスパナでブラシの六角ネジを締付けてください。



■ダイヤモンドホイルの取付け

- ① トイシ支えワッシャ凸(小)部にダイヤモンドホイルを入れる。
- ☑ スピンドル凸(切欠)部に、トイシ支えワッシャの凸(切欠)部が噛み合っていることを確認してください。
- ☑ 100φ×20φ(市販品)を使用する場合は内径15φブッシュを、穴に入れて下さい。
- ② 先に取外したトイシ押さえナットを、凹面を下(ダイヤモンドホイル側)にしてスピンドルに軽く締めてください。
- ③ ロックボタンを指で押して、スピンドル軸を固定し、付属のスパナでトイシ押さえナットを締付けてください。



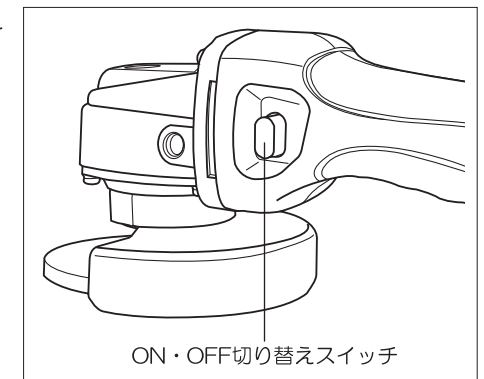
ご使用方法

⚠ 注意

- 使用電源は、銘板に表示してあるAC-100Vの電圧でご使用下さい。100Vのものを間違えて200Vの電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 差込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。

■スイッチの操作

- 本機グリップ部にある、ON・OFF切り替えスイッチをON側に押すとスイッチが入り、OFF側に押すとスイッチが切れます。



■操作方法

⚠ 警告

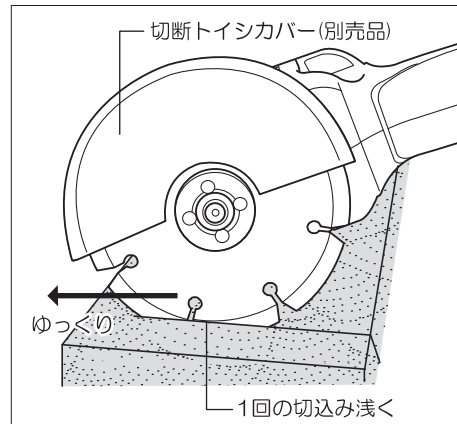
- 作業に合ったトイシカバーを必ず取付けてご使用ください。カバーを外してご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 使用前に各種トイシやダイヤモンドホイールなどに亀裂、割れがないことを確認してください。亀裂、割れのままご使用になりますと破損などで、思わぬ事故の原因になります。
- 切断する材料や研削する材料は、確実に固定してください。不安定な置き方で作業をしますと、材料が飛ばされて思わぬ事故の原因になります。
- ダイヤモンドホイール、切断トイシでの曲線切り、斜め切り、ジグザグ切断、コジリ、側面使用などは絶対にしないでください。破損などで、思わぬ事故の原因になります。
- 作業者は、長袖、長ズボン、保護メガネ、防じんマスク等を必ず身につけてください。研削粉や火花が飛び散り、火傷や目、口に研削粉が入る事があり危険です。
- 可燃性の液体やガスのある所では絶対に使用しないでください。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。

⚠ 注意

- 無理に押し付けて、回転数が大幅に低下するような負荷をかけないでください。作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命が短くなります。
- 本機は、スイッチを切ってもモーターの回転はすぐに止まりません。作業が終わっても地面や床にはすぐ置かず、回転の停止を確認してください。
- 切断直後、切削直後の材料は熱くなっています。火傷の恐れがありますので、直ぐには触らないでください
- 作業前に人のいない方向に本機を向けて試運転をし、本機や取付け部品に異常のないことを確認してください。

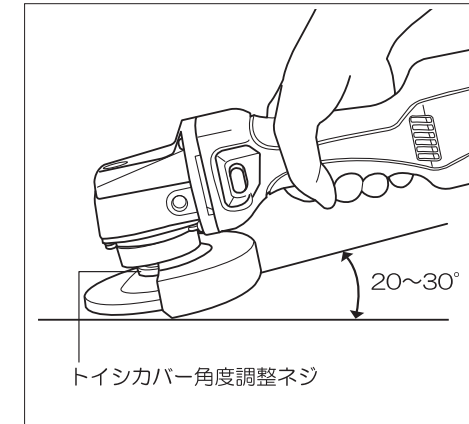
●切断

- モーターの回転を十分上げてから、切断材料に静かにあててください。
 - モーターの回転が落ちないように、ゆっくり前方に進めて切断してください。
- ☑1回の切込み深さを浅くし、モーターの回転が落ちないように注意して押し進めてください。
- ☑作業の際、必ず切断トイシカバー(別売品)を装着してください。



●研削

- モーターの回転を十分上げてから、研削する材料にトイシを軽くあててください。
 - モーターの回転が落ちないように、ゆっくりと押しあてて研削してください。
 - 材料の加工する面に対し、トイシの面が20°~30°位の角度であたるようにしてください。
 - トイシが新しい時は、後へ引くようにして使用してください。
 - トイシの周囲の角が摩耗してから、前後や円を描くようにして使用してください。
- ☑トイシの全面を材料にあてないでください。
- ☑トイシの外径が60~70mm位になりましたら、新品(市販品)と交換してください。



■トイシカバーの角度調整方法

- トイシカバーの本体差込口に固定ネジがついています。角度を調整するときは、固定ネジを⊕ドライバー(市販品)でゆるめて調整してください。
- ☑トイシカバーは安全のため、必ず取りつけてご使用ください。
- ☑角度調整後は、トイシカバー固定ネジを確実に締め付けてください。

保守、点検について

⚠ 注意

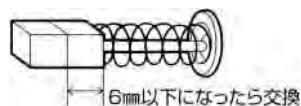
- 保守、点検をするときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。
- 各部を点検してネジのゆるみがないか確認してください。万一、ゆるんでいるときは締めなおしてください。そのまま使用しますと大変危険です。
- 作業が終わりましたらゴミを取り除き乾いた布か石けん水をつけた布をよくしぼって拭いてください。
- ☑ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。
- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。
- お子様の手のとどかない、落下の恐れのない安全な場所に保管してください。

■カーボンブラシの交換

⚠ 注意

- カーボンブラシを交換するときは、必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。

- カーボンブラシは、時々取り外して点検してください。
- カーボンブラシは消耗品です。残りが約6mm位になりましたら交換してください。摩耗が大きいままご使用になりますと、モーター故障の原因になります。



- ①カーボンブラシケースのブラシキャップを
⊖ドライバー(市販品)などでゆるめて外してください。

- ②摩耗したカーボンブラシを抜き取り交換してください。

- ③取付けは、取外しの逆の要領で行ってください。

Ⓢカーボンブラシは2個で一組になっています。交換の時は、必ず2個同時に行ってください。

- カーボンブラシの寸法 8×6.5×12mm(長さ)

- 本機についてのお問い合わせ、修理等は、お買い上げの販売店、又は、当社までご連絡ください。

